

復興支援フォーラムニュース No. 126

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)

【第124回ふくしま復興支援フォーラム/2018年3月11日・A0Z 視聴覚室】

浜通りの地域づくり、復興八年目のロードマップを描く

～地域の底力を共に再生するためにできる事～

東日本大震災支援全国ネットワーク 福島担当
ふたば地域サポートセンター ふたすけ 室長
鈴木亮

【本日の発表骨子】

1: 浜通りの現状をお伝えするにあたって

- ・私が大切にしたい考え方(やんわり・ゆっくり・よりあって)
- ・震災から8年目のロードマップを描くにあたって考えたい事

2: 2018年～2020年のロードマップは描けるか

- ・避難12市町村の復興計画
- ・民間で創るロードマップ

3: エネルギー、食と農、そしてお金から考える市民活動

- ・怒りを超える、愛がエネルギー
- ・顔の見える関係に風評なし
- ・自立のための志金循環を福島から

4: 地域の底力を共に再生するために

- ・見守りとまちづくり
- ・交流拠点とつながる仕組み
- ・「血の通った政策」を官民で

【参考】

- 東日本大震災支援全国ネットワーク 福島情報アラカルト http://bit.ly/jcn_fukushima170611
- ふたば地域サポートセンター ふたすけ <http://bit.ly/futasuke180222>

★ 県民健康調査検討委員会の検証結果について、ご講演をいただきまして感謝申し上げます。県内の現状と問題点を認識することができました。(K. F)

★ 県民健康調査の報道に接していると、まずは結論ありき、原発事故の影響の存否が大前提で、そこからデータの解釈をするようになっていくように、住民の中の分断ができているのが残念です。事実を突き合わせながら、今、確認できる事実を前提に、県民の健康（甲状腺がんのみならず）を守るために、何をすべきかを考えるべきと感じました。(K. T)

★ 解決困難な問題に対して、信頼される結論を出すという決意は、重要であると思います。放射能問題、被曝の問題をはじめ、原発の問題は真相をうやむやにされることが多い。これだけの大きな事故からの教訓や真実を残していくためには、県民によりそいつつ決意を持って行くことが何よりも大切だと思います。(K. K)

★ 国は、検討委員会を、いつまでやると考えているのだろうか。放射線の影響による甲状腺がん、あるいは影響なしは、どのようなデータがあればいえるのだろうか。(M. S)

★ 文科系の専門家として、この「県民健康調査」の被災地や被災者にもたらす社会的影響・効果などをきちんと提起すべきかな、とも思います。(S. H)

~~~~~

★ フォーラム終了後、報告者の清水修二さんから、以下のコメントをいただきました。ありがとうございます。転載させていただきます。

「放射能災害の被害を、放射線被曝の被害だけに限定するのは間違いです。2千人を超える関連死をはじめ、多数の避難者、広範囲の人々の故郷喪失、膨大な放射性廃棄物、地域経済の破壊など、仮に放射線被曝の健康影響が軽微だったとしても、その被害の巨大さは歴然としています。

甲状腺がんの問題は、科学・医学の問題であるだけでなく、重大な社会倫理上の問題をはらんでいて対処するのが非常に困難です。過剰診断論や検査の見直し論がでてくる事情については、一刀両断にするのではなく、よくよく考えるべきだと思います。」

◆◆◆◆【会場カンパありがとうございました】◆◆◆◆

第122回ふくしま復興支援フォーラム(2月28日)の会場で、カンパ2500円をお寄せいただき、ありがとうございました。ご報告とともに、御礼申し上げます。(今野)

【会計報告】(2018.3.10現在)

第1期(～2015.9)累計 収入214,746円 支出207,640円 残(繰越)7,106円

第2期(2016.10.27～)

「収入」(2018.2.8までの累計) 100,256円 (第1期 繰越 7,106円含む)

会場カンパ(2018.2.28) 2,500円

計 102,756円

「支出」2017.11.30まで 累計 82,940円

計 82,940円

「残金(現在高)」 2018.2.26 19,816円

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

<予告> 第125回(2018年3月27日(火) 18時30分～20時30分)

テーマ 「被災地からの脱却を目指して」

報告者 遠藤 雄幸 氏 (川内村長)

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 MAXふくしま4F(福島市曾根田町1-18)

<予告> 第126回(2018年4月12日(木) 18時30分～20時30分)

テーマ 「トリチウム汚染水問題～住民目線から海洋放出案と水蒸気放出案の是非を問う」

報告者 野中俊吉 氏 (コープふくしま専務理事、

経産省 汚染水処理対策委員会 トリチウムタスクフォース委員)

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 MAXふくしま4F(福島市曾根田町1-18)

<予告> 第127回(2018年4月26日(木) 18時30分～20時30分)

テーマ 「双葉郡の医療体制と課題」

報告者 堀川 章仁 氏 (医師、双葉郡医師会長)

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 MAXふくしま4F(福島市曾根田町1-18)